

3学年だより

～ 今週の言葉 ～

『 夢見月 (ゆめみづき・三月の異名) 』
植物が新しい芽を吹き、花を咲かせる季節
です。私たちも美しい夢を…。

令和 3年 2月19日 (金) 発行 第39号

卒業生に贈る ～ 想像すること ～

東日本大震災からまもなく10年、再び大地震に見舞われました。13日(土)深夜23:00過ぎの大きな揺れには恐怖を感じたことでしょう。ケガや建物の倒壊といった大きな被害はなかったようで安堵しましたが、ご家庭によっては食器などが割れてしまったという話を耳にしました。謹んでお見舞い申し上げます。



さて、先日、前期選抜の出願先変更が締め切れ、最終倍率が確定しました。学校では、教室や廊下に張り出された新聞記事のコピーを食い入るように眺める生徒たちの姿が見られました。来週には、事前指導を行い、受験票もお渡しします。

卒業式の練習も始まりました。学年主任からは「主役は君たちだ。参列する方々に成長の姿を見てもらおう」との話がありました。卒業まで、14日…1日1日の重みを感じます。

先日、ある女子生徒が、「早く受験が終わってほしいです。今がとても苦しいです」とつぶやきました。隣にいた生徒も、その言葉に「うん、うん」とうなずいています。これまで、本当に一生懸命がんばってきた人にとって、今は苦しい時期であると思います。今、経験している苦しみの正体、それは、「努力しているからこそその苦しさ」です。「人生苦しいときこそ上り坂」という言葉を聞いたことがあります。今、皆さんは頂上を目指して、最後の上り坂を必死で駆け上っているところです。もうだいぶ高いところまで上ってきましたが、これまでの疲労もあり、かなり苦しいことでしょう。でも、最後のひとふんばりです。想像してみてください。待ち受ける頂上にはどんな景色が広がっているのでしょうか。今まで見たことのない美しい晴れやかな景色を、今まで味わったことのない満ち足りた気持ちで眺めることと思います。

想像してみることです。そんな日は、もう目前です。

今日は、一編の詩を贈ります。励ましになれば…と願います。

「 目標 」

宮澤 章二

力強く歩きたいと思った
くたびれて 疲れ果てて 自分に負けそうになりながら
幾たびも幾たびも思い直して もっと力強く進みたいと願った

そして 新しい年が来ると その新しい年が笑いかけてくれた
汚れていない 新鮮な風と光が
いつでも むこうから声をかけてくれた



きみ 目標はきみが選んだのだよ だから
たとえきみが目をつむっても その目標は決して消えないのだよ
自分で選んだ 一つの大事な目標が
むこうから 私たちをすくってくれるのだ



さわやかな朝の挨拶
「あけよう」



暑さにも寒さにも負けず
のぼった「さつき坂」



時間を惜しんで
机に向かいます

♪ 来週の予定

22日(月)	卒業式練習⑤⑥	15:50 頃下校	25日(木)	卒業式練習⑥	15:50 頃下校
23日(火)	天皇誕生日		26日(金)	卒業式練習⑤	14:50 頃下校
24日(水)	卒業式練習⑤・⑥カット	14:30 頃下校	27日(土)	給食もあと何回食べられるのだろう…	